

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

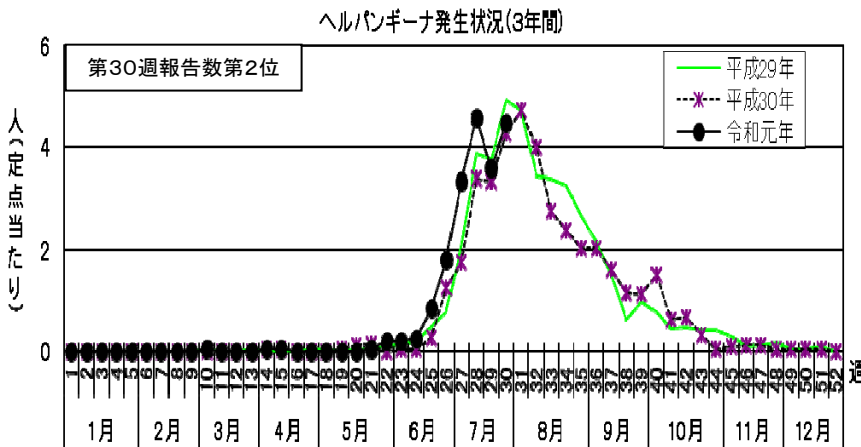
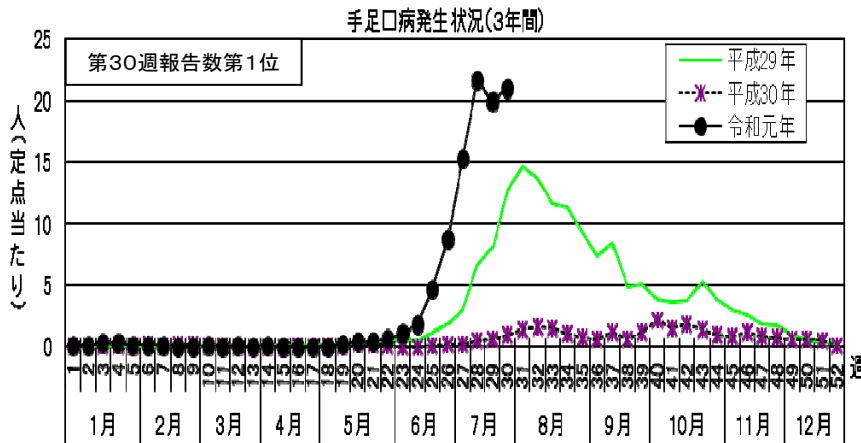
令和元年7月22日（月）～令和元年7月28日（日）〔令和元年第30週〕の感染症発生状況

第30週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)ヘルパンギーナ 3)感染性胃腸炎でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は21.00人と前週（19.94人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.47人と前週（3.58人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.36人と前週（3.78人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

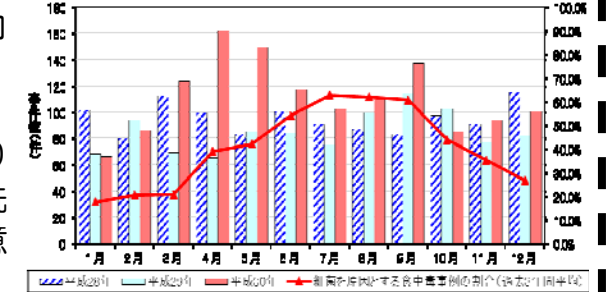


～食中毒警報が発令されました！！～

神奈川県では、気象条件等の解析結果から食中毒発生の可能性が高まったため、**令和元年7月30日（火）に食中毒警報を発令しました**。今年は昨年より11日遅い発令日となりました。

夏季は気温や湿度が高くなり、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌（O157、O111など）、黄色ブドウ球菌などの細菌を原因とする食中毒が起こりやすくなります。家庭内での食中毒を防ぐため、手洗いの徹底や食品の取扱いなどには十分注意しましょう。

全国における月別食中毒発生状況(平成28年～平成30年)



食中毒予防の3原則

つけない

手洗いの徹底！

器具の使い分け！

増やさない

低温で保存！

やっつける

十分な加熱！

器具の消毒！